

○受動喫煙防止対策について



受動喫煙とは？

受動喫煙とは、自分の意思とは関係なく、周囲のタバコの煙を吸い込むことをいい、副流煙の影響を受けている状態を受動喫煙といいます。

吸わない人にも健康被害が及びます

副流煙に含まれる有害物質 (主流煙を1とした場合)

- ニコチン・・・・・・・・・・2.8倍
- ベンゾピレン（発がん性物質）・・3.7倍
- 一酸化炭素・・・・・・・・・・4.7倍
- アンモニア・・・・・・・・・・46.0倍
- タール・・・・・・・・・・3.4倍

たばこの先から立ちのぼる煙（副流煙）は、直接タバコから吸い込む煙（主流煙）よりも有害物質が多く、この副流煙を吸うことで目や鼻を強く刺激し、目の痛みやくしゃみ、頭痛等を引き起こすほか、肺がんやぜんそくにかかりやすくなります。

周りの人への配慮を忘れずに

喫煙は、本人だけでなく、周囲の人にも影響があることを認識してください。喫煙者の優しい気配りが受動喫煙をなくすために必要です。



○歩行中は禁煙にご協力を！

タバコの火のついてる部分（燃焼円錐）の温度は600～900℃といわれています。歩きタバコで他人の洋服を焦がしたり、ちょうど手の位置にある子どもの顔などに当たったりしたら…など考えてください。

○吸殻のポイ捨てはしない。

ポイ捨ては街を汚し、火災発生の危険もあります。吸殻はきちんと片付けましょう。



喫煙者の衣服などにも有害物質が付いています。

部屋の中でタバコを吸うと、部屋の中のカーテンやソファ、衣服、髪の毛などに有害物質が染み込みます。タバコの火を消しても有害成分は残っており、それらを吸い込むことにより健康被害を受けます。お子さまのいる家庭では特に配慮を。

受動喫煙を受けない環境の整備

禁煙や分煙などの対策をとる必要があります。

官公庁や学校等の公共施設と、駅・医療機関などの不特定多数の人が社会的に利用する公共の場は、特に配慮が必要です。



受動喫煙防止対策にご協力ください。